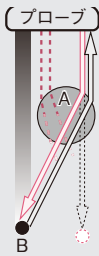
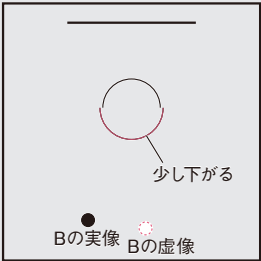
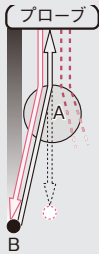
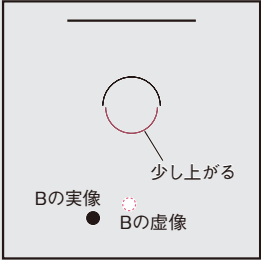
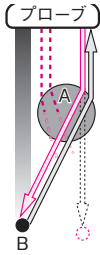
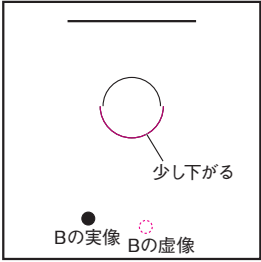
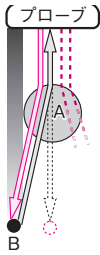
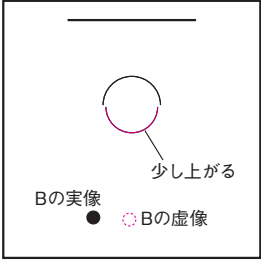


本書に誤りがありました。正しくは下記の通りです。お詫びして訂正いたします。

2024年5月10日

	p.116 屈折によるアーチファクト I. Aの音速が周囲より遅い   Bの実像 Bの虚像 II. Aの音速が周囲より早い   Bの実像 Bの虚像
	I. Aの音速が周囲より遅い   Bの実像 Bの虚像 II. Aの音速が周囲より早い   Bの実像 Bの虚像 基本的にはプローブ表面から虚像までの距離は赤矢印の経路(距離)が長いので実像より深い部分に表示される。Aの音速の影響も含まれる。 基本的にはプローブ表面から虚像までの距離は赤矢印の経路(距離)が長いので実像より深い部分に表示されるが、Aの音速の周囲との差によっては深さ方向の位置は変動する。

p.206 漏れ電流の許容値

誤

電流 単位 [μ A]	B型		BF型		CF型	
	正常 状態	単一故障 状態	正常 状態	単一故障 状態	正常 状態	単一故障 状態
接地漏れ電流	500*	1,000*	500*	1,000*	500*	1,000*
接触電流	100	500	100	500	100	500
患者漏れ電流	100	500	100	500	10	50

(*) JIS T 601-1 (2012) で接地漏れ電流の許容値は10倍に緩和されましたが、単一故障状態の接触電流の制限があるので実質的には上記となります。電気安全規格についてのみ書かれた資料では表と異なる数値となっている場合があります。また、許容値の表記単位は [mA] から [μ A] となりました。

正

電流 単位 [μ A]	B型		BF型		CF型	
	正常 状態	単一故障 状態	正常 状態	単一故障 状態	正常 状態	単一故障 状態
接地漏れ電流	5,000*	10,000*	5,000*	10,000*	5,000*	10,000*
接触電流	100	500	100	500	100	500
患者漏れ電流	100	500	100	500	10	50

(*) JIS T 601-1 (2012) で接地漏れ電流の許容値が緩和され、上表の値となりましたが、JIS規格は頻繁に改訂されており、電気安全に関する各種資料で、表記されている数値が混在していることがあります。